



こう ちょう し つ
校長室だより

おおさか しりつたかのしょうがっこう
大阪市立高殿小学校

06-6951-3344

6月の月目標は、「校内での過ごし方を考えよう。」です。



6月は、雨降りの日も多いです。校内での生活について、どのようにすればみんなが快適に過ごせるでしょうか？運動場が使用できないときに、適切な行動は何かを考えて判断ができるみなさんは、大変すばらしいです。校長 梅原直人

☆ 感染症対策に留意しながら、授業を進めてまいります。 ☆

本校では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めながら、通常授業を進めているところです。ご家庭でも、感染症予防の取り組みにご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて現在、大阪府下においては、1日当たりの新規陽性者数は依然、第5波のピークを上回る3,000人を超過した傾向が続いており、今後も感染予防対策の取り組みの継続が必要であるとの通知がありました。あらためて感染症予防の基本事項を掲載しますので、ご確認いただきまして、お子様の健康にご留意くださるようお願いいたします。

- ① 感染防止対策(3密の回避、マスク着用、手洗い、こまめな換気等)の徹底を図る。
(熱中症対策：屋外や体育の授業等は、十分な間隔が取れるよう配慮したうえで、マスクを外しています。)
- ② お子様、ご家族の毎朝の検温、健康状態を、ご確認いただくようお願いいたします。
- ③ 健康観察表にお子様の体温や体調を記入のうえ、毎日登校時に持参させてください。
- ④ 次の場合は、必ず学校へ連絡のうえ、家庭での休養を、お願いいたします。(いずれも出席停止の扱いをします。)
 - * 発熱(37.5度前後)・咳などのかぜの症状がみられる場合。
 - * お子様の感染が判明または濃厚接触者と認定された場合。
 - * お子様の同居家族がPCR検査、抗原検査を受検することとなった場合。
 - * 同居家族に新型コロナウイルス感染症を疑い、かかりつけ医療機関等に相談すべき症状が見られる場合。
- ⑤ 家庭内感染の予防例を掲載します。
 - * 帰宅後は、手や顔を洗い、できるだけすぐに着替えましょう。
 - * 十分な睡眠・適度な運動・バランスのとれた食事を心がけましょう。
 - * 室内の換気を、1～2時間ごとに一度、5～10分程度窓を大きく開け、空気を入れ換えましょう。
- ⑥ 以下、大阪府から発出されている「府民への呼びかけ」(特措法第24条第9項に基づく)から引用します。
 - * 感染防止対策(3密の回避、マスク着用、手洗い、こまめな換気等)の徹底を心がけましょう。
 - * 高齢者の命と健康を守るため、高齢者(基礎疾患のある方などの重症化リスクの高い方を含む)及び同居家族等日常的に接する方は、感染リスクが高い場所への外出・移動を控えましょう。

☆おおさかしきょういくしんこうきほんけいかく大阪市教育振興基本計画かいせいが改正されました。☆

新たな教育振興基本計画は、「全ての子どもが心豊かに力強く生き抜き、未来を切り拓く力を備え、健やかに成長し、自立した個人として自己を確立することをめざします。あわせて、グローバル化が進展した世界において、多様な人々と協働しながら持続可能な社会を創造し、その担い手となることをめざします。」を基本理念としています。また、①安全・安心な教育の推進、②未来を切り拓く学力・体力の向上、③学びを支える教育環境の充実を、3つの最重要目標として掲げています。

☆ あんぜん あんしん きょういく すいしんほんこう とくしょうかい 安全・安心な教育の推進(本校の取り組み紹介)

今年度は、コロナ禍で2年間実施できなかった「たてわり活動」を充実させ、異学年との交流行事や「なかよし集会」を行い、仲間を大切にし、お互いの人権を大切にしながら、子どもたちが共感的な関係を築けるようにいたします。これらの取り組みをもとに、心のよりどころとなるような学校づくりを進めます。



【^{しゃしん}写真は、なかよし^{しゅうかい}集会 ^{ねんせい}1年生の^{はっぴよう}発表より。】

なんかい じしん つなみびがい そうでい ぼうさい げんさいきょういふ けいかくてき ひなんくんれん じっし だいきぼうさいがいとう きんきゅうじ いのち
南海トラフ地震や津波被害を想定した、防災・減災教育や、計画的な避難訓練を実施し、大規模災害等の緊急時に命を
まも こうどう と いくせい すす
守れる行動が取れる子どもたちの育成を進めます。

☆ みらい き ひらがくりよく たいりよく こうじょうほんこう とく しょうかい
未来を切り拓く学力・体力の向上(本校の取り組み紹介)

きょうが がくしゅう まな ぶ き ち ぶ がくしゅう い ち しゅうたいてき たいわてき ふか まな してん
 教科の学習は SDGsを学ぶ基礎の学習と位置づけ、「主体的・対話的で深い学び」の視点によるアウトプット(書き出し・
 はっぴょうどう じゅうしゅう しどう じぞくかのう かいはつ きょういく ひつよう じんげん たいせつ たいど ろんりてきしこうりく
 発表等)を重視した指導で、ESD(持続可能な開発のための教育)に必要な、「人権を大切にする態度」「論理的思考力」
 ことば ちから しゅうたいせい ひはんてき かんが ちから いくせい
 「言葉の力」「主体性」「批判的に考える力」を育成します。

人権学習を主としたESDを、学年進行に応じ「仲間づくり」「基本的人権の尊重」「文化の多様性」「平和」のテーマで計画的に実施します。ESDの問題解決場面では、教科学習で得た「身につけた力」を子どもたちが主体的に活用できるように指導します。自分の身の回りの解決すべき問題が、実は「地球規模の問題」につながっています。将来、何らかの課題に直面した時に、子どもたちが自然な形で選択した行動が、実は次世代の地球におけるリーダーがとるべき行動となります。

☆^{まな}学びを^{ささ}支える^{きょういくかんきょう}教育環境の^{じゅうじつ}充実^{ほんこう}(本校の^{とく}取り組み^{しょうかい}紹介)

今年度は校舎補修を計画的に進めます。講堂の長寿命化改修工事、1・2号館防火扉の改修工事、3号館校舎の外壁補修工事、4号館トイレの改修工事、運動場北側の外柵工事をしています。

急速に進行する社会のIT化に対応し、教育DX(デジタルトランスフォーメーション)では、1人1台端末の有効活用をさらに進めます。ICT環境を生かした個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けた、様々な取り組みを実施します。個別最適な学びに向け、今年度も次世代教育推進機構のWebプリント「スタディー・プラネット」を利用できるようにいたします。



【写真は、1年生の「タブレット開き」より。】

さらに自主学習の充実に向けた、算数の学習参考書として、筑波大学附属小学校・算数研究部編集の「アイテム算数」を、大阪市教育委員会第2教育ブロックグループとタイアップした公費措置により全校児童に配布する手続きを進めています。この本は、わかりやすい問題解説や、スモールステップによる学習で、「わかる楽しさ」や「ワクワクしながらワンランク上の問題にチャレンジ」でき、自然な形で算数力がつくように、編集されています。配布を楽しみにしておいてください。

